

「MEET UP CHUBU」 vol.68

倉庫の自動化をもっと身近に、簡単に。
低リスク・低コストで物流作業の自動化を
実現するロボットのサブスクを提供する
日系ジョイントベンチャー



+Automation

プラスオートメーション株式会社

会社概要

会社名	プラスオートメーション株式会社
所在地	東京都江東区大島3丁目1番6号 都営新宿線西大島駅A3出口すぐ
事業内容	物流向けロボットサービスプロバイダー RaaS (Robotics as a Service) の運営・提供、ロボット販売、輸入代理店
社員数	52名
設立日	2019年6月18日
株主	三井物産、JAMSP、日本GLP、豊田自動織機

会社概要

倉庫の自動化をもっと身近に。簡単に。

ベンダーフリー

あらゆるロボットで

ワンストップ

全てをお任せで

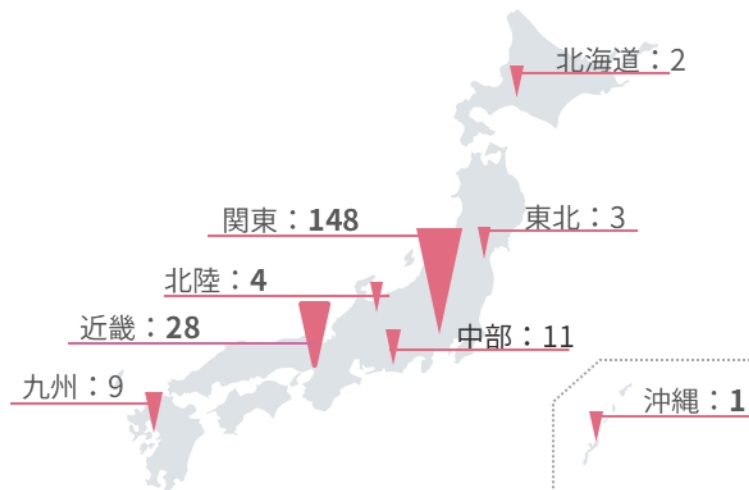
運用ファースト

現場運用に寄り添って



会社概要

中小～大手企業まで、導入口ロボット台数 **6,200**台以上



総拠点数 206 カ所		うちRaaS拠点 138 カ所	
t-Sort 160 カ所	t-Sort 3D 27 カ所	AirRob 3 カ所	AMR/他 15 カ所

※2025年6月末時点

導入企業様（一例）



ビジネス概要

業種・商品で選べる

ローリスク・波動対応

ラース

選べる × ロボットサブスク

「RaaS 2.0」

01



低価格

自動化への第一歩「トライアルプラン」を月額25万円～ご提供。

02



プラン選択

トライアル終了後には、本格導入に向けた最適なプランを「必要能力」に合わせて簡単に選択可能

03



波動対応

本格導入後は環境の変化に合わせてロボット台数の増減、利用規模の拡大縮小などプラン変更が可能

ビジネス概要



仕分け作業を
簡素化して
運用を標準化！

人の作業は
「載せるだけ」
誰でもできる！

サブスクだから
初期費用ゼロの
月額で利用可！

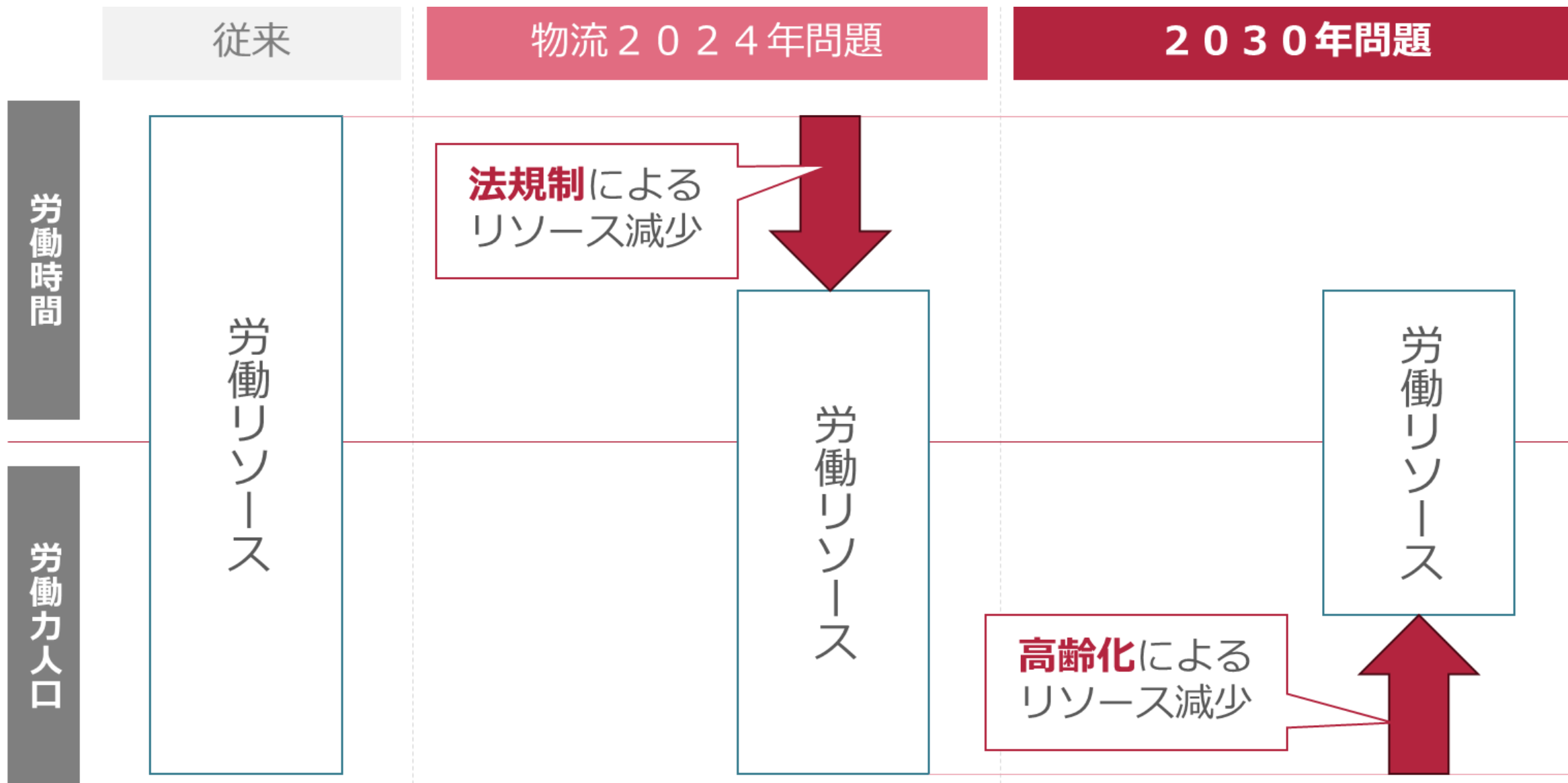
自動化で工程全体を
シンプル化

ロボットや端末
一式をまるっと提供

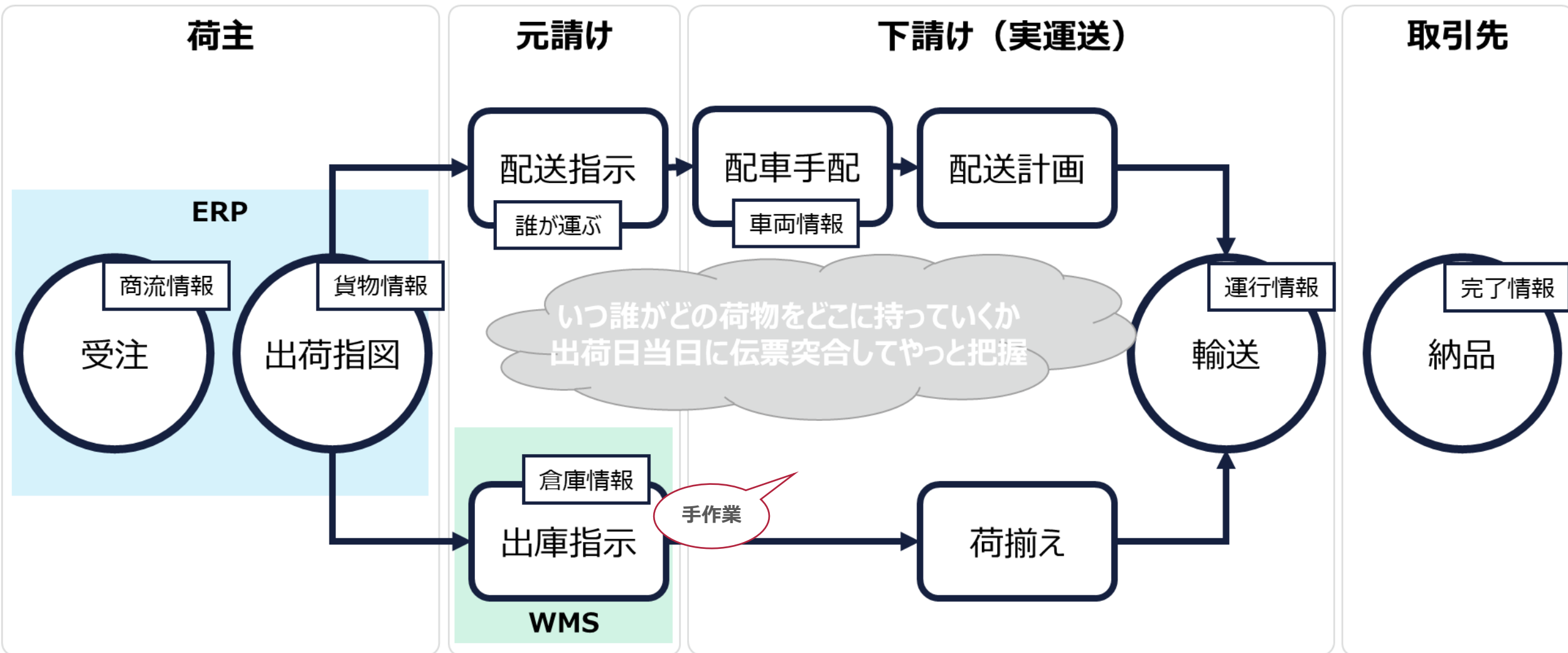
※ 走行架台やシュートは別途



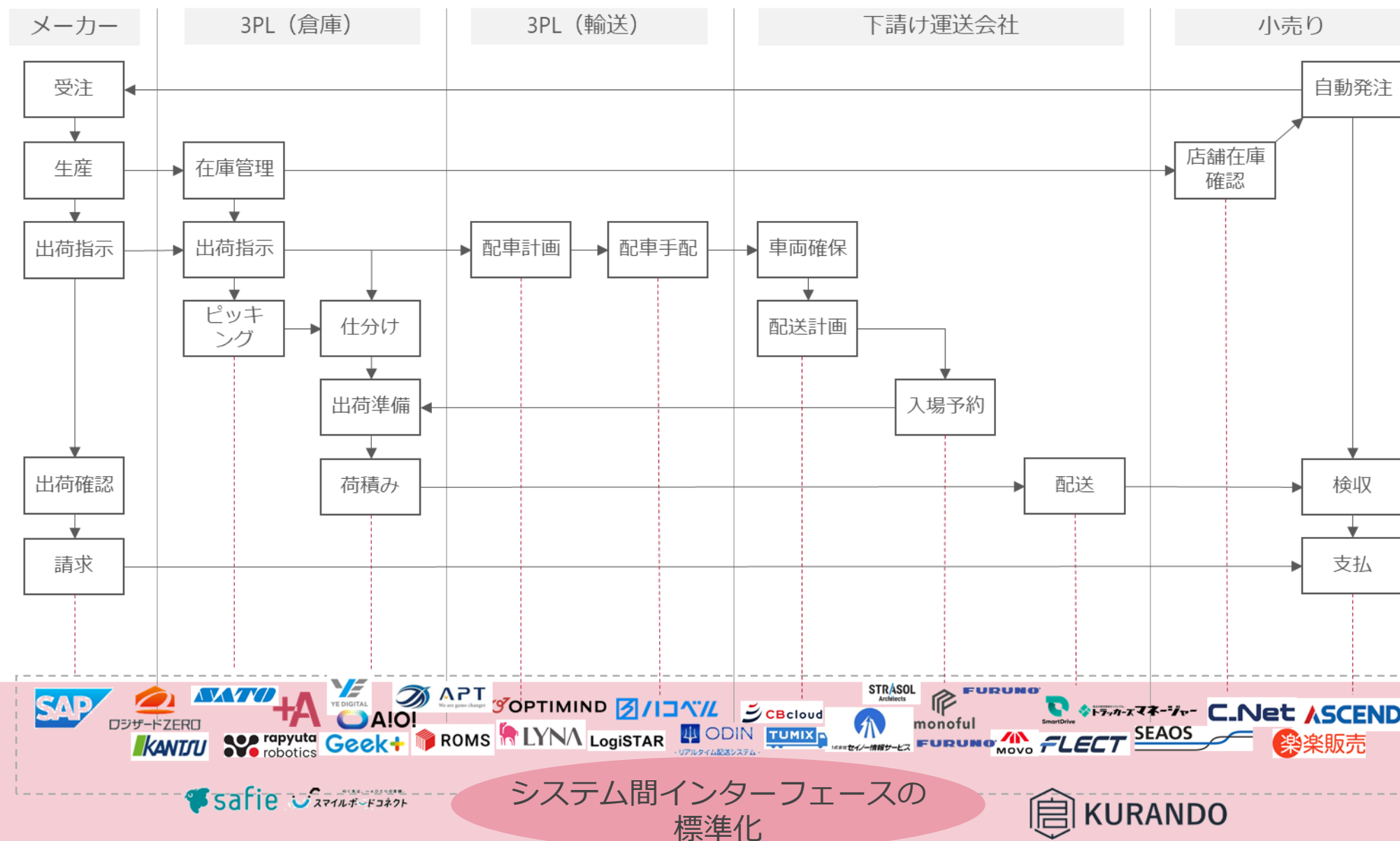
物流領域における課題



物流領域における課題

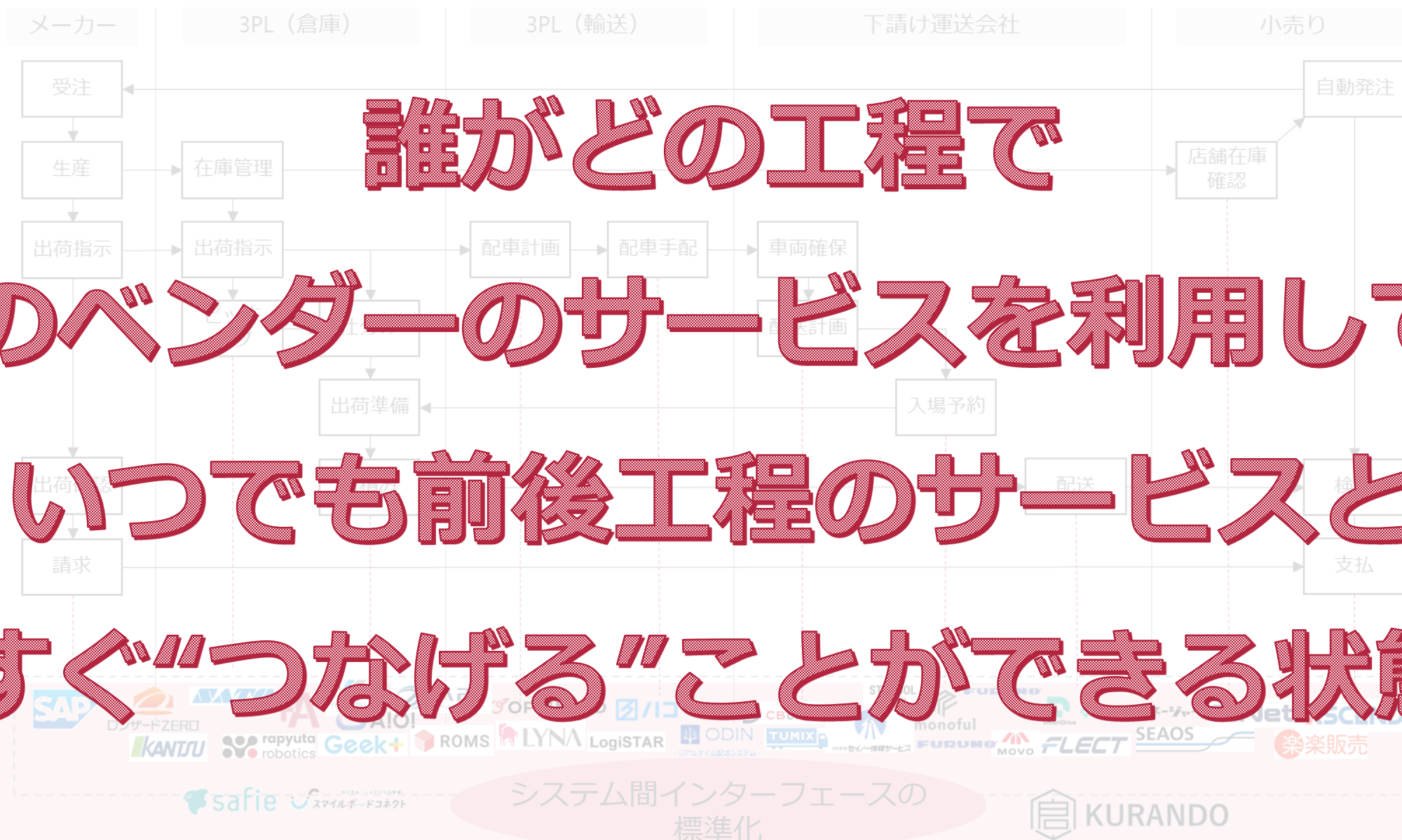


解決のために目指す姿



解決のために目指す姿

誰がどの工程で
どのベンダーのサービスを利用して
いつでも前後工程のサービスと
すぐ“つなげる”ことができる状態



これまでの取り組み

2023

まずは6社で
旗揚げ

個別最適の限界
連携の
ビジョン

2024

参加者を増やし
認知向上

具体的な
連携事例

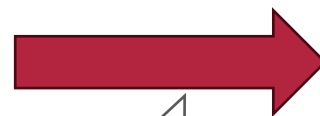
2025

コンソーシアム化
&
オンラインイベント

統一化への
具体的な
取り組み



連携取組
実証実験



統一案の
企画



第三回 物流DX会議について

第三回 物流DX会議

理想を語る。事例を示す。

ベンダー同士の協調領域構築から始まり、
国や業界団体にも広がりを見せる共同体で
ついに新たな取り組みが動き出す——。



8/22
ON AIR

第三回の3つの見どころ

(1) 進化した連携事例

前回の「2社間連携」から更に進化し、3システム以上の連携事例を紹介。複数のシステム同士が実際に連携し、ユーザーが課題解決を実現している具体例を目撃できる。

(2) 高まる機運を体感

ベンダー企業20社+ユーザー企業10社が参加予定。取り組みへの機運の高まりを実際に体感できる貴重な機会。

(3) 官民連携の実現

経済産業省をはじめとする公的機関からの注目度を実感できる。ローカルな盛り上がりではなく、オフィシャルに注目される取り組みとしての位置づけを確認できる。

特別企画：ユーザー・ベンダー・官による“ラウンドテーブル”

今回は初の試みとして、ユーザー企業、ベンダー企業、行政が一堂に会するラウンドテーブルを実施。現状の課題解決のために必要な取り組みや目指すべき状態について、同時多発的な議論が展開される。

注目の新展開：「物流DXコンソーシアム」発足へ

第三回では、物流DX会議を経た次なる展開として**「物流DXコンソーシアム」**の発足が発表される予定だ。

第三回 物流DX会議について

12時40分：パネルディスカッションI

「今後の荷主企業と物流事業者との関係とあるべきサプライチェーンの姿」

<登壇企業・団体>

沼田 和広氏 (F-LINE コーポレート支援本部 DXソリューション部)

近藤 敬佑氏 (フライウィール セールス・マーケティング本部)

田口 智士氏 (物流DXコンソーシアム 理事長)

LOGISTICS TODAY

13時20分：連携事例発表I

「WMS×自動配車×動態管理の連携～倉庫内業務からラストワンマイルの納品検品までを一貫して管理、物流全体の効率化を実現」

<登壇者>

鈴木 喬氏 (シーネット 執行役員 (営業管掌)) =写真左

朴 成浩氏 (ライナロジクス 社長) =写真中

老川 俊輔氏 (都築電気 ビジネスプロモーション統括部 SCMビジネス推進室 室長) =写真右

LOGISTICS TODAY



13時50分：連携事例発表II

「庫内業務可視化とデータドリブンな庫内改善への取り組み」

<登壇者>

犬山 直輝氏 (住友商事 物流ソリューション事業ユニット 統括) =写真左

岡澤 一弘氏 (KURANDO 社長) =写真中

末次 友也氏 (大和物流 情報システム部 ソリューショングループ グループ長) =写真右

LOGISTICS TODAY



14時20分：連携事例発表III

「SBS三菱ロジスティクスが挑む、生産性と品質を高める庫内自動化の実践」

<登壇者>

嶋田 由香里氏 (ギークプラス 執行役員 マテリアルハンドリング事業部 部長) =写真左

小室 雅章氏 (アイオイ・システム 第一営業部 営業1課 チーフ) =写真中

曲淵 章浩氏 (SBSホールディングス LT企画部 部長) =写真右

LOGISTICS TODAY



15時10分：標準連携取り組み発表I

「AIを活用した倉庫自動化一元管理システム『WXS』」

<登壇者>

小杉 直人氏 (APT 取締役CTO) =写真左

曾田 尚宏氏 (HEROZ Business Success Division Vice Division Head / AIエンジニア) =写真右

LOGISTICS TODAY



15時40分：標準連携取り組み発表II

「倉庫内全体最適へ導く連携エコシステム」

<登壇者>

柿野 充洋氏 (ロジザード 執行役員 企画営業部長) =写真左

浅成 直也氏 (YE DIGITAL 物流DXシステム本部 副本部長) =写真中

田口 智士氏 (プラスオートメーション プロダクト事業部 事業部長) =写真右

LOGISTICS TODAY



16時30分：パネルディスカッションII

「物流領域の全体最適化に向けた今後の展望」

<登壇企業・団体>

宮本 香織 (みやもと かおり) 氏 (経済産業省 商務・サービスグループ 流通政策課 物流企画室 室長補佐)

奥住 智洋 (おくずみ ともひろ) 氏 (フィジカルインターネットセンター 事務局 長)

八木 学 (やぎ まなぶ) 氏 (日本3PL協会 室長)

赤澤 裕介 氏 (LOGISTICS TODAY編集長)

物流DXコンソーシアムについて

① プラットフォーム確立のためのレギュレーション制定

- システム間共通インターフェースの検討・定義・設計（既存活用も含む）
- マスタデータ規格の検討・定義・設計
- データ活用のありかたについての協議・検討（ツール活用含む）

② ネットワーク構築による周知・啓蒙及び情報交換

- 荷主企業及び物流事業者との情報交換、周知・啓蒙
- 官公庁及び自治体、各業界団体との情報交換、支援依頼
- サービスベンダー及びSIerへの勧誘・周知・啓蒙

③ プラットフォーム実現に向けた実証実験

- レギュレーションに準拠したシステム間連携実装及び事例共有
- 官公庁及び自治体、各業界団体と連携した実証実験
- 複数荷主企業との共同実証実験

連携をお願いしたい内容

① コンソーシアムへの参画

- ✓ どのシステム間の連携が優先度が高いか、メリットは何か、のご意見
- ✓ 事業会社の巻き込みへのご助言・ご協力

② 実証実験へのご協力

- ✓ 複数システム連携による物流業務DXの実証へのご協力
- ✓ 複数企業を巻き込んだサプライチェーン全体への呼びかけ

ご清聴ありがとうございました